

食品ロス等の削減に向けた県内の取組状況

参考資料 4

分野	団体等名称	令和3年度以降に実施予定・検討中 (令和3年度から新たに実施するものには(新)と記載)
生産	JA富山県 女性組織協議会	(新)フードドライブ活動の実施 ・技術力アップによる廃棄量の削減 ・規格外品を加工品へ利用
	全国農業協同 組合連合会 富山県本部	・技術力アップによる廃棄量の削減 ・規格外品を加工品へ利用 ・廃棄品の畜産農家への無償供給
	富山県漁業 協同組合連合会	・鮮魚や加工品向けとして取引されない魚を肥料、飼料の原料として提供 ・魚食文化の普及(魚のさばき方教室の開催)
	富山県農業 協同組合中央会	・技術力アップによる廃棄量の削減 ・規格外品を加工品へ利用
製造	(一社)富山県 食品産業協会	(新)フードバンク活動促進に向けた実証事業(県の委託事業):食品関連事業者から発生する未利用食品の有効活用を促進するため、比較的小さな規模、エリアでのモデル事例を構築・検証する実証事業を実施する。 ・商慣習検討専門部会への参加 ・広報誌などによる食品ロス削減運動の周知
(卸売・小流通・外食)	アルビス株式会社	・納品期限の緩和となる商慣習の見直し ・恵方巻等の季節商品の予約販売の強化 ・少量パックやハーフサイズ等の小容量商品の販売と強化 ・発注量の適正化のための自動発注システムの活用 ・期限直前食品の値引き販売や、もったいないコーナーの設置 ・食材を無駄なく使う食べきりレシピの募集、提案、コンテストの開催 ・家庭で使いきれない食品を店舗で集め、食の支援を必要としている人に提供するフードドライブの実施 ・県の食品ロス削減啓発POP、ポスター掲示、店内放送等の協力 ・期限間近商品の優先購入促進キャンペーンへの協力 ・エンカル消費の啓発
	イオン株式会社	(新)鶏肉の産地パックによる消費期限の延長 (新)フローズンフィッシュ(真空冷凍パック)による消費期限の延長 (新)フードレスキューコーナーの拡大検討 ・AIによる客数予測データの活用による発注精度の向上 ・県の食品ロス削減啓発POP・ポスター等の取り付けの協力
	(一社)日本チェーン ドラッグストア協会	・広報誌等による環境省、農水省からの食品ロス削減に関する協力依頼の周知 ・10月の「食品ロス削減月間」における店頭での食品ロス削減啓発キャンペーンの開催(令和2年度より開始)
	富山県商工 会議所連合会	・食べきり3015運動の実践 ・広報誌による周知
	富山県商工会 連合会	・広報誌による食品ロス削減、3015運動の周知・実践
	富山県水産物 商業協同組合 連合会	・小容量販売、バラ売り、総菜等の値引き販売の実施
富山県生活衛生 同業組合連合会	・飲食関係組合加盟店での小盛メニュー等の提供 ・食べきり3015運動の実践 ・飲食関係組合加盟店での仕入れの適正化で原材料破棄ロスを目指す。 ・残材は自家消費に回す工夫を行う。	

分野	団体等名称	令和3年度以降に実施予定・検討中 (令和3年度から新たに実施するものには(新)と記載)
(卸売・流通・外食)	富山県生活協同組合連合会	<p>(新)他団体の事業所及びイベントでフードドライブ活動実施の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生へのエシカル消費学習 ・店舗内でフードドライブの実施(コーナーを設ける等)を検討中 ・団体内部等における3015運動実施の協力依頼 ・期限間近商品の優先購入促進キャンペーンへの協力 ・小容量販売、バラ売り、総菜等の値引き販売の実施 ・売れ残りによるロスを出さないため、データ(天候、曜日、時間帯等)を活用した仕入れの実施 ・青果物パックセンターの不良品を減らすよう、生産者や取引業者に働きかけ ・CO・OPエコクラブ(環境委員会)でサルベージパーティを実施 ・キッズクラブのお買い物キッチンで児童を対象に食品ロスの紙芝居を実施
	富山県ホテル・旅館生活衛生同業組合	<ul style="list-style-type: none"> ・宴会幹事との打合せや3015運動啓発資材の配置 ・料理提供のタイミングの配慮
消費者等	(公社)富山県栄養士会	<p>【医療】</p> <p>(新)備蓄食材をローリングで献立に取り入れ、使用していく。</p> <p>(新)献立作成者と調理スタッフの連絡を密にとり、ムリ・ムダ・ムラのないよう、献立作成計画を心がける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者様の病室へ訪室し、嗜好や食事形態の不具合など確認し、残食が出ないように調整及び急な変更や食止めなどによる食事の廃棄を回避できるよう努めている。 ・食材の在庫状況により、納品食材の調整やメニュー変更。 ・病院食の流し献立の導入(今まではバラバラの購入) <p>【学校健康教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残食を減らすため、給食委員会による残食調べや、たべキリン運動(食べものを大切にして残さず食べきろうとする富山市の活動)の活動を行ったり、掲示資料を作成したりするなどしている。 ・規格外の地場産食材を使用する。 ・給食日より等で家庭でできる食品ロス削減やレシピの紹介。 ・教科や給食時間を利用して、食品ロスや好き嫌いをなくそうなど指導。 ・環境について学んだ学年が、校内で食品ロスに関するポスターを掲示。 <p>【福祉(保育所)】</p> <p>(新)おいしいとやま食べきり運動実行チーム(事務局:富山市消費生活センター)による、「おいしいとやま食べきり運動」の園児への啓発活動(ポスターの掲示や給食時の呼びかけ等)</p> <p>(新)令和4年度には、調理員研修会において、食品ロスと食育についての講義を予定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の残食を増やさないよう、適量の提供を心掛け、保育士との情報共有を密にしている。 <p>【福祉(施設)】</p> <p>(新)調理場だけでなく、施設全体の取り組みとして、職員間での食品ロス削減(期限切れに近い食品を持ち寄り、譲る)に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の食数管理を徹底する。 ・こまめな在庫管理。 <p>【勤労者支援】</p> <p>(新)お客様に現実を理解してもらう目的で、毎日のロスとなっている食数を掲示する予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連休前などに欠食届を提出(入力)を積極的に呼びかけている(欠食入力システムで管理している食堂) ・食品ロス対策を呼びかけ、食数調査を従業員に協力してもらっている。 ・メニューごと、食堂ごとの必要米量を把握し、毎日緻密な計算をして炊飯している。 ・発注量の調整(仕込み担当者のチェックは大きい)
	(福)富山県社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内職員を対象に常時フードドライブを呼びかけ、収集食品を富山県東部生活自立支援センターの相談者へ配布 ・食品ロス削減のため、売れ残り食品をこども食堂等で食材として活用する事業の拡充
	富山県PTA連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・県PTA連合会や単位PTAの広報紙を活用した周知・啓発 ・懇親会等で3015運動の協力依頼

分野	団体等名称	令和3年度以降に実施予定・検討中 (令和3年度から新たに実施するものには(新)と記載)
消費者等	富山県環境保健衛生連合会	(新)フードドライブの開催 ・食品ロス対策を今年度の重点事項とし、各市町村協会に取組みを働きかけ ・小中学校を対象とした「環境に関する壁新聞・ポスター募集」事業の内容に、「食品ロス」問題を加えて募集 ・食品ロス削減に関する研修会への参加
	富山県消費者協会	(新)企業参加型エシカル消費PR事業(県の委託事業):エシカル消費の啓発普及のため、県と包括連携協定を締結している企業と連携してイベント等を開催する。 (県内アルビス全店舗において開催中:10月16日(土)~10月31日(日)) (新)とやまリレーフードドライブ・キャンペーンへの協力要請を受けて、7月19日から8月20日の間、当協会においてフードドライブを実施したところ、消費生活研究グループや一般有志の方々から、354品目76kgの食品提供があり、8月下旬に県内の子ども食堂等へ提供した。 ・令和3年度消費生活研究グループ活動目標の中に、「SDGs」の目標達成に貢献する具体的な消費行動として「エシカル消費」を明記し、その中で、食品ロス・食品廃棄物の半減を目指すための実践行動を促す。 ・くらしのアドバイザーによる「くらしの相談会」や、「多様な主体による連携強化・発展型の消費者教育強化事業」の活動メニューに「エシカル消費」や「食品ロス等の削減」を明記し、消費者や子どもたちへの普及啓発に努める。 ・消費者大会や環境フェア等のイベント開催時に、「食品ロス等の削減」のパンフを配布するなどにより、啓発普及に努める。
	富山県食生活改善推進連絡協議会	(新)フードドライブ講習会を開催し、実施の仕方を学んだことを元に各市町村協議会において普及啓発するとともにできることから実施する。 (新)SDGsやエシカル消費について、各市町村協議会が開催する事業を通して地域住民に普及啓発をしていく。 ・「食品ロス削減」関連の講師依頼に各市町村協議会で対応する。 ・サルベージ・パーティーを各市町村協議会で実施する。 ・食育推進事業で食品ロス削減を普及啓発する。 ・エコッキングを推進する。 ・食品ロス削減を考慮した小学生親子料理コンクールを実施する。 ・各イベントにおいて「食品ロス削減」をテーマとしたPRブースの出展及び普及啓発。 ・食品ロス削減についてレシピ集や啓発チラシを配布。 ・野菜の皮や芯、外葉で作るベジブロス(野菜出汁)と、その効能を普及する。
	富山県婦人会	・食品ロス削減に関する研修会実施(講演、グループ討議、発表) ・「定期的な冷蔵庫チェック、食材の使い切り(毎月30日、15日)」や宴会時における3015運動実施を呼びかけ ・買い物方法の見直しを呼びかけ(必要な量だけ購入、期限間近な商品から購入など) ・サルベージ・パーティーの開催 ・地元の郷土料理講習会で、食材の使い切りなど、食品ロス削減を啓発 ・春夏秋冬の季節ごとに家庭から出るごみを分別し計量する活動を通して、食品ロス削減(生ごみ削減)を図ろうとする意識向上 ・食品ロス削減のレシピを募集。提供されたレシピによる調理実習の実施、広報誌等での紹介。
	(公財)とやま環境財団	(新)フードドライブ拡大事業(県委託事業):フードドライブの実施を関係団体などに呼びかけ、リレー形式で実施する。 ・ホームページやメールマガジン、啓発イベント(とやま環境フェア、富山県ごみゼロ推進県民大会、その他団体等が実施する環境関連イベント)などでの食品ロス削減の普及啓発 ・とやま環境未来チャレンジ事業(県委託事業):小学校に講師を派遣し、食品ロス削減など環境に関する学習プログラムを実施するほか、授業などで活用してもらうための副読本を配布する。 ・サルベージ・サポーターマッチング事業(県委託事業):サルベージ・サポーターの活動支援を行うとともに、取組み拡大に向けた普及啓発を行う。

食品ロス等の削減に向けた県内の取組状況

分野	市町村名	令和3年度以降に実施予定・検討中 (令和3年度から新たに実施するものには(新)と記載)
市町村	富山市	<ul style="list-style-type: none"> ・おいしいとやま食べきり運動協力店に、消費者が食べ残した料理を持ち帰るためのバックを配布 ・フードドライブの実施 ・広報誌やホームページへの記事掲載や出前講座による周知・啓発 ・小・中学校・幼稚園・保育所(園)への啓発活動(給食時の校内放送・ポスター掲示)
	高岡市	<p>(新)市内の幼稚園や保育園の園児を対象にした嗜好調査を実施し、結果を反映したリクエスト献立の実施(食べ残しの削減)</p> <p>(新)高岡市食生活改善推進員養成講座にて、食品ロスにつながる講義を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブの実施 ・市役所ロビーで食品ロス削減等啓発パネルを展示し、市民に周知 ・食品ロス等に関する出前講座や啓発活動を消費者団体に委託 ・市が活動支援している栄養士と連携した食育活動(児童への食に関する指導など) ・給食等の残食調査を実施し、結果を踏まえ食べ残しが減るような献立の考案
	魚津市	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の残食率を各学校に掲示して意識啓発 ・食育の推進 ・広報誌による食品ロス、3015運動の周知啓発
	氷見市	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシを担当課の窓口に設置 ・食育の推進 ・生ごみ処理機の購入費補助
	滑川市	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌、市ホームページ及び啓発チラシによる食品ロス、3015運動の周知啓発 ・生ゴミ処理機の購入費補助 ・廃食用油を資源物として回収、再資源化 ・エコクッキング(食品ロスの削減に留意したメニューの普及啓発) ・食育の推進(食生活改善推進員の研修会)
	黒部市	<p>(新)3015運動を呼びかけるマグネットステッカーを食品ロス削減月間である10月に配布して周知啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃食用油を資源物として回収、再資源化 ・出前講座や関係会議等での食品ロスに関するチラシの配布 ・食育の推進 ・市庁舎内でのパネル展示 ・食生活改善推進連絡協議会が作成した食品ロス抑制効果のあるレシピを講習会・ケーブルTVを通じて紹介 ・フードドライブの実施促進
	砺波市	<ul style="list-style-type: none"> ・市ごみ袋に食品ロスのPR広告を掲載 ・生ゴミ処理機の購入費補助 ・廃食用油を資源物として回収、再資源化 ・食育の推進 ・広報誌、ホームページによる食品ロス、3015運動の周知啓発
	小矢部市	<p>(新)小矢部市環境保健衛生協議会と小矢部市で小矢部市社会福祉法人連絡会のフードドライブおやべ事業に加わる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小矢部市環境保健衛生協議会が作成した3015エコバックを配布し、3015運動を周知啓発 ・食品ロス対策チラシを配布し、3015運動を周知啓発 ・3015運動を呼びかけるコースターを市内飲食店で配布し、食品ロス削減を周知啓発 ・広報誌による食品ロス対策、3015運動の周知啓発 ・夏休みの応募作品として食品ロス削減啓発ポスター・壁新聞を募集 ・小矢部食品衛生協会へ食品ロス対策助成 ・食育の推進
	南砺市	<p>(新)学校給食の食品ロス(食材廃棄部分を減らす献立の考案)</p> <p>(新)食品ロス削減に向けた啓発チラシの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南砺市指定ごみ袋へ使い切り等を啓発する広告を掲載 ・市ホームページによる食品ロス、3015運動の周知啓発 ・食育の推進 ・生ごみ処理機購入費補助 ・廃食用油の資源回収・再資源化

市 町 村	射水市	<p>(新)フードドライブの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所食堂に食品ロス削減啓発立て札を掲示 ・夏休みの応募作品として、地球温暖化防止(食品ロス削減・海洋プラスチック問題)啓発ポスター・壁新聞を募集 ・市政出前講座「食品ロス・食品廃棄物の削減」の実施 ・いみず環境チャレンジ10の実施 ・可燃物収集委託車両への食品ロス削減啓発ステッカーの貼り付け ・指定ごみ袋に食品ロス削減啓発ロゴマークを掲載 ・市ホームページにて食品ロス削減を啓発(新型コロナウイルスにより、3010運動のページは一時閲覧停止中)
	舟橋村	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌・ホームページによる3015運動の周知啓発 ・食育の推進
	上市町	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌による食品ロスの周知啓発 ・食育の推進 ・小中学生を対象に「かみいち食べきるゾウ運動」の実施
	立山町	<p>(新)小中学校への期限間近の備蓄食料の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌による食品ロス、3015運動の周知啓発 ・町給食センター、保育所、役場に生ごみ処理機をそれぞれ設置し、各所で生ごみを処理し、堆肥として再利用 ・食育の推進 ・生ごみ処理機の購入費補助
	入善町	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別に関する出前講座等で食品ロス削減の周知・啓発 ・食育の推進 ・廃食用油を資源物として回収、再資源化 ・広報誌による食品ロス3015運動の周知 ・飲食店に食品ロス、3015運動チラシを配布し協力を依頼 ・生ごみ処理機の購入費補助 ・「食品ロスの削減」に関するエコライフモニターの実施
	朝日町	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌による食品ロス、3015運動の周知啓発 ・食育の推進 ・生ごみ処理機の購入機補助

(一社) 日本チェーンドラッグストア協会
食品ロス削減啓発キャンペーンの開催報告

1. 開催概要

協会として10月から12月までの3か月を対象とする食品ロス削減啓発キャンペーンの実施を決定し、以下の内容で会員企業に協力を依頼した。

- 1) 開催時期：2021年10月1日～12月末（※実際の対象期間は企業に一任）
- 2) 対象店舗：以下の対象食品を取り扱うすべての店舗
- 3) 対象商品：
 - ・消費期限が短い商品に対する「てまえどり」啓発による食品ロス削減他

2. 店頭事例

会員企業各社店舗において、パンやヨーグルトなどの日配品を中心に、ポスターやPOPを陳列し「てまえどり」のアピールを行った。

